



令和7年3月6日

Town&Gown イノベーションチャレンジ「課題探求型経験学習」最終発表のご案内
3月24日 9:30～・東広島キャンパス

産学連携！実践的協働教育プログラム
地域課題に挑む大学生たちの、未来を切り拓くプレゼンテーション
＜広島大学 × 株式会社オーエイプロト＞

情報提供

株式会社オーエイプロト^{※1}と国立大学法人広島大学は、地域課題の解決・新技術の社会実装と人材育成・持続可能な地域づくりを目指す Town&Gown 構想^{※2}のもと、広島大学が昨年(令和6年)11月に採択を受けた「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業^{※3}」において、地域の現実課題に取り組む実践的教育プログラム「課題探求型経験学習」を実施しています。

本プログラムは、広島大学における「課題探求型経験学習」という新たな試みとして、学部生・大学院生が主体となり企業の問題解決に挑戦する革新的な取り組みです。

従来の産学連携が研究者や専門家の協働を中心としていたのに対し、本プログラムでは、学生が主体的に企業と関わり、実践的な解決策を提案することを重視しています。

この取り組みを通じて、学生は実社会での課題解決力を養うとともに、異文化理解や多様な視点を活かした協働経験を積むことができます。また、企業にとっても、次世代の人材との交流や新たな視点からのフィードバックを得る貴重な機会となります。

本学では昨年(令和6年)、「Town&Gown イノベーションチャレンジ」のパイロット事業として中国精螺株式会社と連携した取り組みを実施^{※4}しており、企業と学生双方にとって価値のある協働の機会を創出しました。

この機会を活かし、現在は株式会社オーエイプロトに加え、株式会社サタケおよび農事組合法人ファーム西田口と共同で、計3件のプログラムを進行しております。諸般の事情により、他の2社に関する取材は行えませんが、本プログラムについては、報道機関の皆さまにもぜひご取材いただき、広く周知していただければ幸いです。本件に関する取材のご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

今回、広島大学の学生が「BtoB企業の株式会社オーエイプロトが BtoC の製品開発を通じて社会との新たな接点を創出する」という課題に取り組めます。

企業が直面する、「技術的競争力を広く社会に伝えるための BtoC 展開における顧客ニーズの模索」、「多様な人材確保のための採用ルートの多様化」、そして「企業の社会的認知度の向上」といった課題に対応するため、学生は実践的な解決策を日々模索しています。さらに産学連携においては、企業と大学が日常的に対話し、持続的な連携を生み出す仕組みを探ります。本プログラムは、こうした企業の実情に即した実践的な課題解決を支援し、産学連携の新たな可能性を拓く機会となります。

オンライン講義・グループワークの様子



本プログラムには、学部生・大学院生を含む 12 人(うち留学生8人)が参加し、1 グループ 4 人の 3 グループに分かれて活動しています。異なる文化や知見を持つ学生たちが、地域課題と向き合い、それぞれの分野・領域を超えた協力のもと、多様な視点から革新的な解決策を提案することを目指しています。

学生たちは 1 月からワークショップを開始し、企業課題の理解、これまでの企業の取り組み事例の共有などを行いました。2 月には個別グループワークを開始し、現在も調査・解決策の策定を進めています。なお、近日中に企業見学も予定しており、BtoB 企業の特性上、情報開示が制限されるなか、学生たちにとっては事業内容を学ぶ貴重な機会となるでしょう。

この実践的プログラムの集大成として、**令和 7 年 3 月 24 日(月)9:30**より、広島大学にて**学生による最終発表(企業へのプレゼンテーション)**を実施いたします。

注目ポイント

- 次世代を担う学生たちの、地域課題解決への挑戦
- 大学・企業・学生のコラボレーションによる新しい社会的価値の創出
- 異分野の融合から生まれる従来の枠にとらわれない多様なアプローチ
- 実際の BtoB 企業が抱える課題に対する具体的で革新的な解決策の提案

本プログラムは、地方創生の要である「Town&Gown 構想」が目指す地域共創に新しい風を吹き込むだけでなく、未来のイノベーターを育成する重要な教育事業となり得ます。未来を担う若者たちのアイデアや提案が、地域社会にどのようなインパクトをもたらすのか。ぜひ、報道陣の皆様にもこの革新的な取り組みを取材していただき、今後の地域共創のモデルケースとしてご紹介いただければ幸いです。

つきましては、下記のとおり実施いたしますので、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、是非ご取材いただきたく、ご案内を申し上げます。

記

【日時】 令和 7 年3月 24 日(月) 9:30~11:30

【場所】 広島大学 IDEC 研究棟1F 大会議室 (東広島市鏡山1丁目3-2)

【内容】 企業提供課題「BtoB 企業の株式会社オーエイプロトと社会の新たな接点をつくる」

という課題に対し、学生らが作り上げた革新的な解決策を企業に提案します。

*使用言語は日本語および英語です。当日は同時通訳をご用意しております。

ご出席される場合は、通訳の都合上、3 月 17 日(月)までにご一報くださるようお願いいたします。

課題提供企業ご紹介

株式会社オーエイプロト (※1)

(〒739-2502 広島県東広島市黒瀬町クリエイトパーク 8-2)

(代表取締役 社長:山名 経行、代表取締役 会長:大坪 義彦)

広島県東広島市に本社を構える自動車の総合試作を手掛ける企業。自動車のプロトタイプモデルから完成車の製作までを一貫して行う体制を整備しており、その技術は新幹線の内装や建設機械のキャビンなど、多岐に渡る分野で活用されている。現在は BtoC 分野での新たな接点を模索しており、新規市場開拓にも積極的に取り組んでいる。

※2 Town&Gown 構想

Town(=まち)と Gown(=大学)が一体となり、持続可能な未来のビジョンを共有した上で、包括的、日常的、継続的、組織的な連携関係を構築し、地方創生への貢献を目指す構想。

・ホームページはこちら: <https://tgo.hiroshima-u.ac.jp/>

※3 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

多文化共修を通じた教育を強化し、地域社会・国際社会と連携した課題解決型プログラムを推進する事業。本事業採択以前より、広島大学は国際化と多文化共修に関連する取り組みを積極的に展開しており、過去にはドイツのライプツィヒ大学と「国際連携サステナビリティ学専攻(修士課程)」を設立するなど、持続可能性に関する教育と研究を推進してきました。また、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業にも取り組み、徹底した国際化を推進してきた実績もあります。これらの活動が、今回の「ソーシャルインパクト創出支援事業」の基盤となっています。

※4 パイロット事業として中国精螺株式会社と連携した取り組みを実施

昨年(令和 6 年)、広島大学の「Town&Gown イノベーションチャレンジ」に中国精螺株式会社がいち早く参画し、広島大学の学生と協働して「金属ナット製造過程で生じる金属スクラップの活用策」を検討しました。選考の結果、「金属スクラップを粉砕してコンクリート骨材に転用」というアイデアが優秀賞に輝きました。

表彰式の様子は、広島大学の HP でご確認ください。

【参考 URL】 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/international/news/86543>

企業情報

中国精螺株式会社

(〒739-0146 東広島市八本松飯田 2-8-4)

(代表取締役社長 奥本 松樹)

1978 年設立の、広島県東広島市に本社を構える精密鍛造部品メーカー。主に自動車用ボルト・ナットなどの高精度冷間鍛造技術が強みとし、短納期・大量生産・オーダーメイド製造にも対応している。

また、タイに子会社を持ち、海外展開も積極的に進めており、自動車分野だけでなく、電気・建設機械関連の部品製造にも取り組んでいる。

主催

国立大学法人広島大学

【お問い合わせ先】

広島大学 国際室国際部グローバル化推進グループ／飯田

TEL:070-1873-5824 FAX:082-424-6179

E-mail: kokusai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数:A4版 4 枚(本票含む)